

# プレ実証実験結果概要

国土交通省 関東地方整備局

2021(令和3)年1月28日

## (1) 目的

- ・実体験を踏まえて、気づき、得られた効果、実証実験に向けた課題等について出し合い、共有する
  - ・実証実験のコンセプト、提供するコンテンツ、重視すべきポイント、アイデア等について出し合い、共有する
- 結果を踏まえて、実証実験計画に反映する

## (2) 実施概要

①日時 2020年11月20日（金）9:00～11:00

②場所 柚子の家 大広間

③参加者

- ・国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 課長補佐 坂戸 万里子
- ・国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 研修員 渡邊 佳織
- ・相模原市 緑区役所 区政策課 総括副主幹 大谷 英久
- ・相模原市 市長公室 総合政策部 政策課 行政実務研修員 田中 亮介
- ・相模原市 緑区役所 区政策課 主事 石川 綾菜
- ・関東地方整備局 企画部 広域計画課 係長 小西 季里子
- ・関東地方整備局 建政部 計画管理課 係長 田中 貴章
- ・関東地方整備局 建政部 計画管理課 係長 石原 隆行（オンライン参加）

④運営

- ・株式会社日本能率協会総合研究所 前原 大輔（進行）
- ・株式会社日本能率協会総合研究所 田中 時光（記録）
- ・株式会社日本能率協会総合研究所 西 悠太（記録）



時間	プログラム	概要
9:00	開会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開会</li> <li>○目的についての説明</li> </ul>
9:05	アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介を通じた場の雰囲気づくり</li> </ul>
9:15	ワーク01 ○利用者視点のふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク01の進め方説明</li> <li>○ワーク01の流れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者の視点で、プラスポイントとマイナスポイントを付箋に書き出し                   <ul style="list-style-type: none"> <li>黄：プラスポイント（気づき、学び、得られた効果等）</li> <li>青：マイナスポイント（問題点、足りなかった点、課題等）</li> </ul> </li> <li>②食、宿泊、遊び、仕事、移動の区分で付箋を貼りだし、1人ずつ発表して意見交換</li> <li>③結果の共有（特に多かった意見、特徴的な意見等の共有）</li> </ul> </li> </ul>
9:50	ワーク02 ○実証実験の効果を高めるアイデア出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク02の進め方説明</li> <li>○ワーク02の流れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>①企画・運営側の視点で、ワーク01の意見に対応するアイデアを付箋に書き出し                   <ul style="list-style-type: none"> <li>黄：プラスのアイデア（より効果を高めるためのアイデア等）</li> <li>青：改善のアイデア（問題点、足りなかった点、課題等を改善するアイデア等）</li> </ul> </li> <li>②1人ずつ書き出したものを発表して貼りだして発表、意見交換（類似する意見はまとめていく）</li> <li>③結果の共有（特に多かった意見、特徴的な意見等）</li> </ul> </li> </ul>
10:45	投票	<ul style="list-style-type: none"> <li>○投票               <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に大事だと感じた意見（付箋）にシールを貼る（1人5つまで）</li> <li>・シールが貼られた状況を共有</li> </ul> </li> <li>○一人一言               <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に、参加者一人ずつ感想を共有</li> </ul> </li> </ul>
11:00	閉会挨拶	関東地整



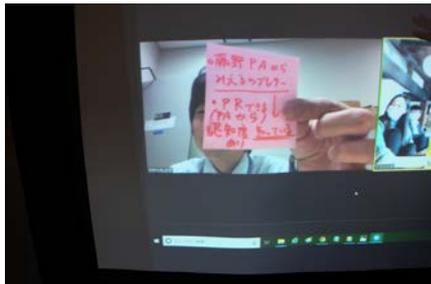
アイスブレイク（好きな動物とセットで自己紹介）



ワーク01（感想等の書き出し）



ワーク01（意見の共有）



ワーク02（アイデアの共有②）



ワーク02（アイデアの共有①）



ワーク02（アイデアの書き出し）



シールで投票（1人5つまで）



全体共有、意見の深堀



一人一言

区分	プラスポイント	マイナスポイント
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じ朝ごはんも美味しく感じる</li> <li>○地の物を使った食べ物がおいしい</li> <li>○食事が美味しいお店が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○のどが渴いてもすぐに買いに行けない</li> </ul>
泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間の流れがゆったりしている</li> <li>○古民家が魅力的</li> <li>○リノベーションのセンスが良い</li> <li>○キャンプができる（BBQも）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車が運転できないと暮らせない</li> <li>○夏場は虫が気になる</li> <li>○虫が多い／山ヒルが出る</li> <li>○Wi-Fiが繋がりにくい</li> </ul>
発見 学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オフィス仕事では共有できないことも活かせる（プライベートも含め）</li> <li>○人の魅力／魅力的な人が多い（高橋氏、湯川氏、佐藤氏）</li> <li>○個性豊かな人が多い</li> <li>○人とエネルギーの一体感がある</li> <li>○移住者と地域との関係性が良い</li> <li>○芸術に関わる人材、コンテンツや機能の集積</li> <li>○地元の資源を大切にする雰囲気（木材とか）</li> <li>○地域内通貨の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人との距離が近いのが不慣れのため逆に不安を感じる（上手く地域の中に入ることができるか）</li> </ul>
プレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源が豊富</li> <li>○景色がきれい</li> <li>○景色が最高（特にグランピング（藤野倶楽部）のところ）</li> <li>○自然が豊か（朝の景色がきれいだった）</li> <li>○自然環境／山／川</li> <li>○季節を感じることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光地要素が少ない</li> <li>○観光資源に乏しい（他との差別化が難しい）</li> <li>○冬は絶対寒い</li> </ul>
ワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然に触れて普段とは別世界で仕事ができる</li> <li>○集まりの場が充実していて会話が生まれる</li> <li>○参加者同士の距離感がすぐに縮まる</li> <li>○何か新しいもの、アイデアが生まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽化が進んでいる施設の改修等が必要</li> <li>○人口減少、高齢化が進んでいる</li> </ul>
移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京からのアクセス性の良さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移動が大変（時間がかかる）</li> <li>○地域内交通が不便</li> <li>○運転できないため交通に不便を感じる</li> <li>○道路が狭い</li> <li>○夜は道が暗い</li> <li>○自分で現地に来るのはハードルが高い</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然災害</li> <li>○観光資源、コンテンツが天候の影響を受けやすい</li> </ul>

区分	プラスのアイデア	問題改善のアイデア
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元食材で朝ごはん（おむすびとみそ汁）を提供 ●</li> <li>○「ゆず」の更なるブランド化 ●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食の観光資源をつくる ●</li> </ul>
泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビジネスホテル、グランピングなど、様々な趣向、価格設定の宿泊施設を用意する ● ●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宿泊施設のリノベーション（魅力的な宿泊施設を増やす）</li> <li>○防虫駆除など、虫関係の仕事をしている人を藤野に呼び込む（仕事としてできないか） ● ●</li> </ul>
発見 学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーケーションに地域の人と語る時間を必ず組み込む ●</li> <li>○体験型コンテンツの充実（地域課題解決も） ● ●</li> <li>○ワーケーション等の参加者同士や参加者と地域間で交流ができるスポット的なイベントの企画 ●</li> <li>○ワーカー、地域住民など、誰でも集える場所、機会をつくる</li> <li>○地域通貨の一日体験（来訪者が地域でサービス提供や貢献することで地域通貨がもらえる等） ● ●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○天候の悪さを逆手にとって楽しむことができるコンテンツ（雨の中の森林浴的な） ●</li> <li>○敢えて「寒さ」を体験する（楽しむ）プログラム（空手等の寒稽古後のお汁粉が温かくて美味しかった体験は特別） ● ●</li> <li>○ベイマックス（地域の見守り、福祉の関わる課題をロボットやAI等のIT技術で解決する）をつくるまちづくり</li> </ul>
プレイ ワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○火起こし体験、発電体験など、自給自足生活を疑似体験できるコンテンツをつくる ●</li> <li>○季節ごとにPR方法を変える（企業、個人、ファミリー、独身、夫婦のみ等）</li> <li>○アート体験、山（野菜の収穫、山菜取り）、川（魚釣り等）等、魅力ある点を結ぶ</li> <li>○地域の人たちと一緒に過ごす（星空観察、まちあるき等）</li> <li>○子どもと大人の遊びや楽しみがそれぞれ独立して楽しむことができる（子どもは地域で面倒見てくれるとか）</li> <li>○キャンプやアウトドア好きなワーカーを対象としたテレワークプランをつくる</li> <li>○事務スペース+工房+子育て支援のテレワーク拠点（子どもに気にせず仕事に集中できる、体験もできる） ● ●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期滞在を前提としたバケーション事業を展開（モデルコースを提案する）</li> </ul>
移動		<ul style="list-style-type: none"> <li>○運転手付きの送迎プランをつくる（移動が楽） ● ● ● ● ●</li> <li>○駅近くに、車が無くても泊まれる古民家やBBQ場 ●</li> <li>○リニア駅から定期的な周遊バスorタクシーを運行 ● ● ●</li> <li>○橋本駅からの車移動を試す</li> <li>○駅前にモビリティを用意する（小型でも山道を移動できるように駆動力は大きめ）</li> <li>○レンタルバイクの導入</li> </ul>
情報 発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メディアやSNSを活用して若い層にPR</li> <li>○インスタの活用</li> <li>○スマートポール（基地局搭載）を駅前に！ ●</li> <li>○地域の人物図鑑をつくって配信、配布する ● ● ● ● ●</li> <li>○地域内のビュースポット（山、水辺、星空など）掘り起こしてPR</li> <li>○オフィスからの生配信（ZOOM 等でつなぎオフィス勤務者へ配信）</li> </ul>	